

### 子宮内膜症

川口市立医療センター  
産婦人科 ちしま ふみ ひさ  
千島 史尚



子宮内膜症は、本来なら子宮の内側にある子宮内膜やその類似組織が、子宮外の骨盤内で発育し増殖する疾患です。主な症状は、月経痛や慢性的な骨盤痛、排便痛、不妊症などで、性成熟期にあたる20～40代に多くみられます。初経の低年齢化や晩婚化などで、女性の一生における月経回数が増えることが要因となり、子宮内膜症が増加してきていると言われています。発生する部位は、腹膜や卵巣のほか、現在では画像診断により、直腸やS状結腸、直腸腔中隔、膀胱子宮窩に瘤状の腫瘍ができることも分かるようになってきています。

治療法は薬物療法と手術療法があり、症状の強さ、発生部位、年齢、出産希望の有無などを総合的に判断し方針を決定します。痛みに対しては鎮痛剤や漢方薬を用いますが、効きにくい場合には、低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬（LEP製剤）などの内分泌療法を行います。卵巣に大きな嚢胞を形成し感染のリスクがある場合などは手術を行うこともあります。繰り返し手術を行うことは妊娠する力の低下につながると考えられています。薬物療法をしっかりと行っていくことで手術を回避できる場合もあります。

また、子宮内膜症などの器質的疾患を伴わない月経痛を機能的月経困難症と言い、15～25歳前後のかたに起こることがあります。最近の研究で、機能的月経困難症も時間がたつにつれ子宮内膜症を発症してくることが分かってきました。月経痛は、学業や仕事、対人関係にも悪影響を及ぼします。月経にまつわる痛みの症状があるかたは、我慢せず、産婦人科を受診し相談してみましよう。

最近増えている!

# アニサキスに要注意

食中毒

目視で確認! 鮮度を徹底!

加熱・冷凍で予防!

生鮮魚類の生食によるアニサキス食中毒が近年増加しています。アニサキスを正しく理解し、食中毒を予防しましょう。

### アニサキスとは?

- 魚に潜む白色で体長2～3cmの寄生虫(線虫)
- 主に内臓表面に寄生しているが、鮮度が低下すると筋肉へ移動する。

### 寄生している主な魚介類

サバ、アジ、サンマ、カツオ、イワシ、サケ、イカなど

### 予防のポイントは?

**加熱** 60℃では1分、70℃以上では瞬時

**もし生で食べるなら...**

**冷凍** -20℃で24時間以上冷凍

**目視** 目視で確認し、除去

**鮮度** 新鮮な魚を選び、早めに内蔵を取り除く(内蔵を生で食べない)。

※酢や塩、しょうゆ、ワサビなどの調味料では、アニサキスは死滅しません。

※「よく噛めば大丈夫」というわけではありません。

アニサキスによる食中毒が疑われる場合は速やかに医療機関を受診してください。

問 食品衛生課 ☎048-423-7889 FAX048-423-8852



## イベントスケジュール

7月

～9日(日)  
特別展 「チョコレート～カカオがとどける幸せな世界～」  
場 科学館 →18ページ

15日(土)～23日(日)  
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2023  
場 SKIPシティ →4・5ページ

22日(土)～26日(水)  
川口市平和展  
場 中央図書館、メディアセブン →13ページ

29日(土)、30日(日)  
第43回たたら祭り  
場 オートレース場とその周辺 →2・3ページ

川口市 広報課 職員による  
ちょっとくだけた? 市政情報番組

85.6 MHz  
City Information  
FM Kawaguchiで放送中  
放送日: 平日の10分間 →10:00、13:50、17:50、20:00

LINE ID @kawaguchi.city  
川口市 公式アカウント  
※3カ月前に配信メールと同じ内容の受信も可能

LINE 暮らしに役立つ ぜひご利用ください  
きり川口情報メール



## 自身の道を照らす太陽のように

青木バトントワラー所属  
バトントワラー 瓜生 陽花さん  
つりゅう まはな

音楽に合わせてバトンを操りエレガントなパフォーマンスを披露するバトントワラー。競技のカテゴリには多岐にわたるが、陽花さんは1本のバトンを操り、独りで演技を行う「ソロトワラー」で、8月にイギリスで行われる世界大会に出場する高校1年生。

幼稚園のころ、空手や水泳、新体操など多くのスポーツに挑戦し、バトントワリングも、母の勧めで参加した青木バトントワラーで出会った。「先輩たちがとても優しく、環境にもすぐになじめた」。他の競技を全てやめバトントワリングにのめり込んだ。

たちまち頭角を現し、小学2年生から4年生では全国2位という好成绩を毎回取めるが、本人は納得できなかった。「優勝できなかったこと、負がとても悔しかった。私、負けるのが嫌いなので」と柔らかな雰囲気とは相反する気持ちの強い一面がうかがえる。

1人の選手にどうしても勝つことができません、3年間どうすれば勝つことができるのかをひたすら考えて練習に励んだ。先生からは、絶対に負けないための厳しい練習を課され、「バトンを落とさない」「綺麗な演技をする」と小学生のころからストイックに自分を追い込み、真摯に競技と向き合った。バトンは重さ約250gの鋼鉄製。キャッチを失敗し、体にあざを作ることもしばしばない。日々の厳しい鍛錬が、小学5年生で初優勝を飾ってから中学3年生までの5年間、優勝を続けるという輝かしい成績の礎となった。

気分転換は、「読書とTWEETを聴くこと(笑)」高校生らしい笑顔で語る。特に読書はミステリー系の本を好む。

今後の目標は「世界大会の優勝はもちろん、男子、女子、全年齢、区別なく各部門の勝者が競う全日本選手権のグラウンドチャンピオンの座を高校生で勝ち取る」と、力強く宣言した。高校生でのグラウンドチャンピオン獲得は非常に稀で、偉業達成が期待される。

名の「マハナ」はタヒチ語で「太陽」を意味する。厳しく険しい道のりでも、自身の道を明るく照らし、太陽のように輝く栄光をその手に収める日を思い描き、今日もバトンを握る。(書)

